

若狭ネット

第83号 2004年 2月29日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんばつ」連絡会(〒915-0235今立郡今立町不老6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原
発に反対する大阪の会(〒583-0005藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

プルサーマル・もんじゅ・敦賀3・4号炉をゆるさない！

電力・国がいう「原発発電コスト」のごまかしを暴こう

TMI原発事故から25年

反原発討論集会

- 「原発は安い安い」と宣伝しながら、
やはり「原発は高い」と報告する
電事連の報告書を暴く -



原発は安いのか？

そうじゃないのか？

4月4日(日)午後1時半～4時

場所 東淀川勤労者センター

内容 ・電力自由化と原発・核燃料サイクル政策について
・プルサーマル・敦賀3・4号炉増設問題について
・6月から試運転にはいるか？六ヶ所再処理工場をめぐる



2回の関電交渉。「原発は安い」から「原発は高い」と認めざるを得なくなる

私たちは、昨年の12月19日、今年の2月13日と2回続けて、関電交渉をおこないました。主な質問は、電気事業連合会が出してきた「核燃料サイクル事業全体のコスト見積」についてでした。

この中で各電源の発電コスト比較を行い、「原子力の経済性は他の電源との比較において遜色はない」とまとめています。

4年前の通産省がおこなった試算と同じ内容でまとめています。原発は安いとは言わずに、火力発電と競合できるとしています。しかし、この試算もウソです。原発は高くつくことをこの交渉で追及しました。

- ・ 原発から出る使用済み核燃料を再処理するのを先送りにすれば、発電コストが安くなるからくり
- ・ 原発の建設期間を短くし、投資費用を小さくすれば、発電コストが安くなるからくり
- ・ 国の原子力予算や電力会社の寄付金などは発電単価に入れていないこと。

「電事連の報告書から」 こっそりと、原発は、火力より高いことを報告しています。
有価証券報告書からの算定値

	原子力	火力
2000年度～2002年度平均実績単価 [同 実績設備利用率]	8.3円/kwh [78%]	10.0(7.3)円/kwh [41%]

*火力の()内は設備利用率を80%で換算した場合の試算値

- ・ 今までに積み立てておかねばならない放射性廃棄物の処分費など、約1兆円などは、発電コストに入れていないこと。
- ・ 原発から出た放射性廃棄物を一般ゴミとして捨ててもよいとするクリアランスレベルを勝手に導入して、放射性廃棄物処分費2千億円を削減していること。
- ・ 原発の経済性を追及するため、安全規制の緩和を求めていること。

この問題は、公開質問書として、文書回答を求めました。

もう一度、上の表を見てください。よく見ると、原発が安いように思えますが、設備利用率80%換算をすると、火力は、7.3円になることを報告書で公表しているのです。つまり、原発の発電コストが火力より高いことを正直に認めたのです。

実は、電力自由化の中、電力会社の原発にかかる負担は今後増すばかりです。原発費用の負担を減らすために「原子力発電のメリットを受けてきた国民に広く薄く負担してほしい」と、電事連が訴えているのです。原発を国策として位置づけ原発推進政策を進め、今までいっていた原発は安いというウソをごまかしながら、さらに国の税金で、原発を保護しようとしているのです。

この「コスト試算」の問題をさらに追及します。脱原発へ、運動を強めていきましょう。

3月26日(金)午後6時から3回目の関電交渉を行います。ご参加をお願いします。

福井県知事は、北陸新幹線を福井に誘致するため、原発カードを切ったが、・・・

昨年12月、西川福井県知事は「もんじゅ」の改造工事 敦賀原発3・4号炉増設計画 関電プルサーマル計画の“原発カード”を「交換条件」に、北陸新幹線の県内着工を国に求める姿勢を明確にしました。

12月8日、福井県議会で、北陸新幹線の県内延伸を求め、「国の対応によっては、今後の原子力政策の推進には反対も辞さない」とする強い文言を盛り込んだ「北陸新幹線整備促進に関する決議」が、賛成多数で可決されました。福井県や議会は、国の原発推進政策に対して、「おどし」をかければ、新幹線を認めるだろうと読んだようです。

しかし、北陸新幹線の早期着工の年内見直しは、今年6月に先送りとなりました。あせった県自民党は、1月27日、新幹線と原発を「切り離し」する方針に変更しました。2月県議会では、慎重審議としていた「もんじゅの改造工事の認可」や「敦賀3・4号炉の増設問題」についても議論が進むと見られます。

敦賀3・4号機の総工費は7700億円。敦賀市への経済効果は1200億円が見込ま

れ、敦賀市も建設ピークには約5千人の雇用があると期待しています。

何にしても、世界最大級の原発を建てるという安全性の問題や、もんじゅを再開する危険性や、プルサーマルの危険性など、福井の住民の生命、健康を第一義とした議論などなく、金だけの県や県議会に対して、哀れさと憤りが湧いてきてしかたがありません。

30数年経った「原発福井」の現状を見ずえ、脱原発こそが福井の生きる道であることを訴え続けていきたいものです。

そんななか 敦賀原発3・4号の運転開始さらに延期2年程度 費用減へ工事変更

2月6日、日本原電が敦賀市で建設を計画している敦賀原発3・4号炉の運転開始時期が、計画よりさらに2年以上遅れることが明らかになりました。昨年3月に1年延期した3号炉の運転開始時期は、さらに遅れ2013年度以降になる可能性が高くなったのです。

今春、準備工事に着手したいとしていますが、国の原子炉設置変更許可申請や準備工事の知事認可申請などは進んでいない状況です。

電力自由化で電力会社間の競争が激しくなる中、より安い電力を提供するため、工事費を当初予定の8300億円から7700億円に圧縮しようとしています。

関電プルサーマル計画に反対しよう

2月9日 MOX燃料を高浜原発3・4号炉で燃やす関電のプルサーマル計画について、国の保安院が、関電の品質保証体制の評価について県に説明をしました。

海外MOX燃料の輸入について「関電は必要な品質保証体制を構築している」と評価しながらも、「品質保証活動が確実に定着するよう、継続的な取り組みが必要」などと関電に注文をつけていることも明らかにしました。

1999年のデータねつ造事件で最も深刻なのは、関電にあります。関電自らデータねつ造を見抜けなかったことです。この根本的な問題は何ら解決できていません。また、以前武生市で関電との公開討論会をおこなったさい、「品質管理はしている」と大ウソをついたことに対して、いまだに謝罪も反省もしていない企業体質で、どうして今後、品質保証などできるのでしょうか。

この問題についても3月26日の関電交渉で追及していきます。プルサーマル計画反対運動と、「発電コスト」問題、原発・核燃料サイクル問題について、4月4日には、大いに討論をしましょう。多くの方の参加をお願いします。

いつまで続けるの!? 寄付金を出す電力会社、寄付金を欲しがる自治体

JR小浜線の電化事業に関し、電力会社3社から2000-02年度の3年間に、民間負担分の大半に当たる計約32億円の寄付を福井県が受けていたことが分かりました。

関電、日本原電、北電とみられるが、県は「相手は匿名と、どこからは言えない」と。

県によると、寄付は1年あたり計10億8千万円で、既に32億4千万円を受け取ったことになる。原発のある県の地域振興への協力を検討していた電力各社と電化事業費の民間負担を模索していた県の思惑が一致したという。関電は「地域との共存共栄の観点から地域振興に寄与しており、小浜線電化に関しても応分の寄付をした」と認めています。いつまで、金まみれの体質を維持させるのでしょうか。

3月7日(日) 午後2時から

ビキニ・ヒバク50年「非核平和と環境を考える」

第2回 環境・エネルギー・平和教育のひろば、国際女性デー連帯

内容 ビキニ被爆の実態、地球環境問題の始まり、平和のための原子力、自衛隊の発足

場所 東淀川勤労者センター (地下鉄「新大阪」駅下車東口より東南へ徒歩5分)

3月21日(日) 午後2時から4時半

長尾さんに絆ナ! 原発ヒバク労働者の救済・健康補償をめざす 阪神地域の集い

場所 アクタ西宮東館6F 西宮市大学交流センター (阪急西宮北口駅 徒歩2分)

3月26日(金) 午後6時から

関電交渉 原発の発電コスト試算に、プルトニウム計画に、もの申す!

場所 関西電力本社 (地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車、徒歩7分)

4月4日(日) 午後1時半から

TMI 原発事故から25年 反原発討論集会

場所 東淀川勤労者センター (地下鉄「新大阪」駅下車東口より東南へ徒歩5分)

4月25日(日) 午後1時半から

チェルノブイリ原発事故18周年の集い

「救援関西」発足13周年、さらに前進を!

場所 大阪市立総合生涯学習センター (梅田第2ビル5階)

連絡 チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西

交渉申し入れの賛同と、全国署名にご協力ありがとうございました!

原発で被曝した長尾光明さん 労災認定が認められる。

長尾さんは、「働いて長年経って、やめた後で出た病気が労災認定されたことは、他の労働者の励みになると思う。元気なうちは協力したい」と、話されました。

3月21日に、上記の集いがおこなわれます。今回の報告と、原発労働者の現状報告を福島県双葉地方原発反対同盟の石丸さんに予定。(ヒバク反対キャンペーンより)



編集後記

- 前号のニュースを出したのが、11月末。 若狭ネットのニュースが届いていません。」と、催促の手紙を頂きました。遅れて申し訳ありません。この間、電事連が出した「核燃料サイクルコスト試算」のからくりの解明をしていました。ほぼ全貌が明らかになってきました。4月4日の集会には、この問題を中心にして、電力や国の考えていることをはっきりさせることができると思います。これを元にしながら、原発反対運動の闘いを作り上げていきたいと考えます。大きな動きがある年になる予感がしています。 きよ子